

# 陽平だより

天理教陽平分教会  
出雲市平田町7638  
0853-63-2806

## 親が子となり、子が親となり

仏教では、春分の日と秋分の日を挟んだ前後3日のそれぞれ合計7日間を「彼岸」と呼び、この期間に仏様の供養をする事で極楽浄土へ行くことが出来ると考えられているそうです。今年の場合、3月21日が春分の日なので、18日から24日までがお彼岸ということになります。

さて、天理教では3月と9月、教会ごとに定められた日に御<sup>みたま</sup>霊<sup>さい</sup>祭を執り行い、教会の祖<sup>みたま</sup>霊<sup>さま</sup>舎にお祀りしている先人先祖の御霊様(お寺で言うところの仏様)の御遺徳を偲び、現在の我々が在るのも先人先祖のお陰とお礼を申し上げます。

天理教では、人の死を「出直し」といいます。親神様からの「かりもの」である身体を神様にお返し、それぞれの魂に応じて、また新しい身体を借りてこの世に帰ってくる「生まれ替わり」のための出発点でもあります。

前生までの“心の道”であるいんねんを刻んだ魂は、新しい身体を借りて蘇り、今生の心づかいによる変容を受け、「出直し」「生まれ替わり」を経て、また来生へと生まれ出ます。

そうして、親が子となり、子が親となり、親子・夫婦・兄弟などすべての繋がりが、互いにたすけあい、恩の奉じ合いをしながら、連綿と続く生命のバトンタッチを経て、少しずつ、陽気ぐらしへの歩みが進められていくのです。

せんしょのいんねんよせてしうごふする これハまつだいしかとをさまる  
(おふできき1-74)

(前生の因縁寄せて守護する これは末代しかと治まる)

☆☆ 教会から ☆☆ 何かありましたら、すぐに教会までご相談ください。

◎ 会長 090-3671-5438

○ 一平 090-8064-6887

○ 優美 090-1912-5860

※今月号から表裏4ページに増えました!

～3月の予定～



1日(日)	陽平	春季霊祭
5日(木)	雲陽	春季霊祭
10日(火)	檜岡	月次祭・春季霊祭
15日(日)	陽平	月次祭
20日(金)	雲陽	月次祭
22日(日)	青年会	ハートクリーンキャンペーン
24日(火)	大教会	月次祭
26日(木)	おちば	月次祭・陽平 遥拝式
26～27日	おちば	がえり雲陽団体
27～29日	おちば	春の学生おちばがえり
30～31日	大教会	少年会わかぎの集い

教祖130年祭  
特別巡教

～三年千日の年祭活動、仕上げの旬～

檜岡分教会 3月月次祭

3月10日 10時から

山陰大教会准役員

もりわき まきつぐ  
森脇 正嗣 先生

(京都府福知山市：河守分教会長)

〇 詰所伏せ込みひのきしん  
おちばがえり雲陽団体

日程 3月26日～27日

団費 11,000円

〇 詳細・申込は、教会まで。

〇 「春の学生おちばがえり」

～参加者募集のお知らせ～

たくさんの学生たちがおちばに帰り集う春の一大イベント。USJにも行きます！

日時：3月27日～29日

対象：高校・大学・専門学校生

〇 (新1年生も含みます)

〇 教祖誕生祭  
山陰 先達の集い

おちばがえり  
雲陽団体のご案内

日程：4月18、19日

団費：12,000円(予定)

〇 詳細は、教会まで

なお、修養科を志願する際には、事前に手続きが必要となります。詳しくは教会までお問い合わせ下さい。



おさづけの理を載いていない修養科生は、この三カ月の間に別席を運び、おさづけの理を拝戴することができます。

修養科とは、満十七歳以上であれば、老若男女の別なく、学歴、経歴、職業を問わず、だれでも入ることができます。また、健康な人も、身上、事情に悩んでいる人も、互いにたすけ合って明るく陽気に修養に励み、信仰の喜びを味わいます。そして、陽気ぐらしの世界を建設するようぼくとして生まれ替わり、新しい人生の門出を踏み出します。

修養科へは、満十七歳以上であれば、老若男女の別なく、学歴、経歴、職業を問わず、だれでも入ることができます。また、健康な人も、身上、事情に悩んでいる人も、互いにたすけ合って明るく陽気に修養に励み、信仰の喜びを味わいます。そして、陽気ぐらしの世界を建設するようぼくとして生まれ替わり、新しい人生の門出を踏み出します。

修養科 (しゅうようか)

修養科とは、親神様がお鎮まりくださる親里(奈良県天理市)で三カ月間、親神様の教えを学び、実践しながら、人間の本当の生き方を学ぶところです。

逸話篇にまなぶ

# 教祖の心

『稿本天理教教祖殿逸話篇』一四七

## 「本当のたすかり」

大和国倉橋村の山本与平妻いさ註、当時40才は、明治15年、ふしぎなたすけを頂いて、足腰がブキブキと音を立てて立ち上がり、年来の足の悩みをすっきり御守護頂いた。

が、そのあと手が少しふるえて、なかなかよくならない。少しのことではあったが、当人はこれを苦にしていた。それで、明治十七年夏、おぢばへ帰り、教祖にお目にかかって、そのふるえる手を出して、

「お息をかけて頂きとうございます。」

と、願った。すると、教祖は、

「息をかけるは、いと易い事やが、あんたは、足を救けて頂いたのやから、手の少しふるえるぐらいは、何も差し支えはしない。すっきり救けてもらうよりは、少しぐらい残っている方が、前生のいんねんもよく悟れるし、いつまでも忘れなくて、それが本当のたすかりやで。人、皆、すっきり救かる事ばかり願うが、真実救かる理が大事やで。息をかける代わりに、この本を貸してやる。これを写してもろて、たえず読むのやで。」

と、お諭し下されて、おふでさき17号全冊をお貸し下された。

この時以来、手のふるえは、一寸も苦にならないようになった。そして生家の父に写してもらったおふでさきを、生涯、いつも読ませて頂いていた。そして、誰を見ても、熱心ににいをかけさせて頂き、89才まで長生きさせて頂いた。

# 教祖130年祭 三年千日活动 仕上げの年

山陰大教会実践目標

## 「月に一度はおぢばがえり」 雲陽団体バス 毎月運行!

3月	26日(木)~27日(金)	3月月次祭・母屋伏せ込みひのきしん
4月	18日(土)~19日(日)	教祖誕生祭・婦人会総会
	25日(土)~26日(日)	4月月次祭
5月	25日(月)~26日(火)	5月月次祭
6月	25日(木)~26日(金)	6月月次祭
7月	未定	こどもおぢばがえり
8月	25日(火)~26日(水)	8月月次祭
9月	26日(土)	9月月次祭・天龍講別席団参
10月	26日(月)~27日(火)	秋季大祭・母屋伏せ込みひのきしん
11月	25日(水)~26日(木)	11月月次祭
12月	25日(金)~26日(土)	12月月次祭

※その他、陽平ミニ団体や家族連れ、友人・知人とのおぢばがえりもご相談下さい。

**祝100歳!**  
**おめでとうございます!**

足立紀代子さん

大正5年2月11日生

15日の陽平の月次祭にみんなでお祝いさせて頂きました。

いつまでもお元気でいてくださいね。



**雲陽分教会**  
**創立百二十周年記念祭**  
**六月二〇日(土)**